

新さん（虻中出身） W杯出場！



W杯に出場した新賢範さん

2月13、14両日、新潟県湯沢町の苗場スキー場で、行われたFIS（国際スキー連盟）ワールドカップ（W

杯）大回転に、虻田中学校出身の新賢範さん（東洋大学4年）が出場しました。国内で同大会が開催されるのは10年ぶり。

今回のW杯を目標に、今期のアジアシリーズでは、12月の中国戦が6位、1月の韓国は3位と好成績をあげ、1月下旬日本代表に選ばれました。

成績は、1分20秒4の44位で、残念ながら目標にしていた30位以内には届きませんでしたが、出場した日本人選手6人の中では、最高位となりました。

新さんは「選手のレベルの違いも分かり、出てよかったです。実力も出せたので、結果には満足している」と冷静にW杯大会を振り返りました。

3月に全日本選手権がサツポロティネスキー場で開催され、この大会を次の照準に、「優勝めざしてがんばりたい」と決意を新たにしています。

「MISKY。」と虻田小A優勝

昭和新山国際雪合戦大会 町内チーム大活躍！

第28回昭和新山国際雪合戦大会が、2月20日、21日の両日、昭和新山山麓で開催され、レディースの部では「MISKY.」、ジュニア交流戦で虻田小Aがそれぞれ優勝し、町内チームがおおいに活躍しました。



3連覇を達成した「MISKY.」

レディース部門優勝の「MISKY.」は、商工会青年部を中心とするメンバーで、結成11年目。昨年の優勝に続き3連覇を達成し、最優秀選手賞には、同チームの広瀬早喜さんが選出されました。

阿部博之監督は「3連覇できて、つらい練習のかわがあった。来年は前人未到の4連覇をめざし、練習を重ねていきたい」と優勝の喜びを語りました。



喜びいっぱいの虻小Aチーム

一方初めて実施されたジュニア交流戦で優勝した虻田小Aチーム。6年生中心のチームで、昨年の11月から大会に向けて、室内での練習を開始し、チーム一丸となって勝利を飾りました。

主将の口屋瑞紀くんは「めっちゃうれしい。自信をもってやることができた」と優勝を素直に喜んでいました。

一般の部で参加したAS・SCは、3位に入賞しました。